

# 国語(現代文) 広島大学 法・医・歯・総合科学部 国際共創 前期日程 1/3

## <総括>

出題数	現代文 3題	試験時間	120分
-----	--------	------	------

本文量は減ったが、読みづらい文体だった。論旨は明確だった。

## <本文分析>

大問番号	第一問 現代文				
出典 (作者)	「思想史のなかの日本語」(中村春作)				
頻出度合 ・的中等	なし				
分量 前年比較	分量 <span style="border: 1px solid black;">減少</span> ・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 約 3900 字 (2022 年 約 4540 字)				
難易 前年比較	難易 (易化・やや易化・変化なし・ <span style="border: 1px solid black;">やや難化</span> ・難化)				
一	評論	問一	記述	標準	漢字書き取り。従来通り 5 問に戻る。
		問二	抜き出し	標準	25 字以内で、森有正の引用文からの抜き出し。
		問三	抜き出し	標準	6 字で、森有正の引用文からの抜き出し。
		問四	抜き出し	易	3 字で、クリステヴァの引用文からの抜き出し。
		問五	論述	やや難	「他者論」が「ユートピア」である理由を説明する。
		問六	論述	標準	「懐疑」について森有正を例にして説明する。
		問七			
		1	論述	標準	50 字以内で、「対話」を説明する。
		2	論述	やや難	傍線部の理由を本文全体を踏まえて答える。

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

- ・色々なタイプの評論を読んでおこう。
- ・漢字は必ず出るので日頃から勉強しておくこと。
- ・日頃から文脈を踏まえて文章をまとめる論述練習をしておくこと。
- ・抜き出しの対策も行っておくこと。
- ・100字程度の論述の練習をしておくこと。

国語(現代文) 広島大学 法・医・歯・総合科学部 国際共創 前期日程 2/3

<総括>

出題数	現代文 3題	試験時間	120分
-----	--------	------	------

本文量が増え、設問意図のわかりにくいものが複数あった。

<本文分析>

大問番号	第二問 現代文
出典 (作者)	「イラクサの庭」(堀江敏幸)
頻出度合 ・的中等	なし
分量 前年比較	分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 約5010字(2022年 約4520字)
難易 前年比較	難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)
二	小説	問一	記述	易	「本」のタイトルの日本語で書く。
		問二			
		1	論述	標準	実山が「意外に思った」理由を説明する。
		2	論述	標準	庸子が「すばやく抜き出」せた理由を説明する。
		問三	論述	やや難	「紅茶」を「液体」と言い換えた表現効果を説明する。
		問四	論述	標準	「農婦の奇跡」の内容を踏まえて、実山の行為の理由を説明する。
		問五	論述	やや難	先生と氷砂糖のエピソードを踏まえて、本文末尾の表現の意味を説明する。
		問六	論述	やや難	「農婦の奇跡」の物語の実山さんにとっての役割を説明する。

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・文脈や表現、設問の意図などを丁寧に読み取ること。
- ・あらゆるタイプの小説の読解問題を多く解くこと。

国語(現代文) 広島大学 法・医・歯・総合科学部 国際共創 前期日程 3/3

<総括>

出題数	現代文 3題	試験時間	120分
-----	--------	------	------

本文は平易で、設問数が一間減ったが、答えにくい設問が増えた。

<本文分析>

大問番号	第三問 現代文
出典 (作者)	「書棚戦争」の思い出(亀井俊介)
頻出度合 ・的中等	なし
分量 前年比較	分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 約2960字(2022年 約2350字)
難易 前年比較	難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)
三	随筆	問一 問二 問三 問四 問五 問六	記述 記述 論述 論述 論述 論述	易 標準 やや易 標準 やや難 やや難	「戦争」という比喩の意味を説明する。 「会話」から夫婦の関係を説明する。 筆者が後悔した内容を説明する。 「また」という表現に着目して、「感慨」を二つ書く。 「戦争」という比喩を用いる筆者の姿勢を説明する。 妻の「本」が筆者にとってどのような存在なのかを説明する。

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・色々なタイプの文章(エッセイを含む)を読んでおきたい。
- ・100字前後の論述にも慣れておこう。